



与論中だより

誠

協力 自
体力 調 造 主
気力

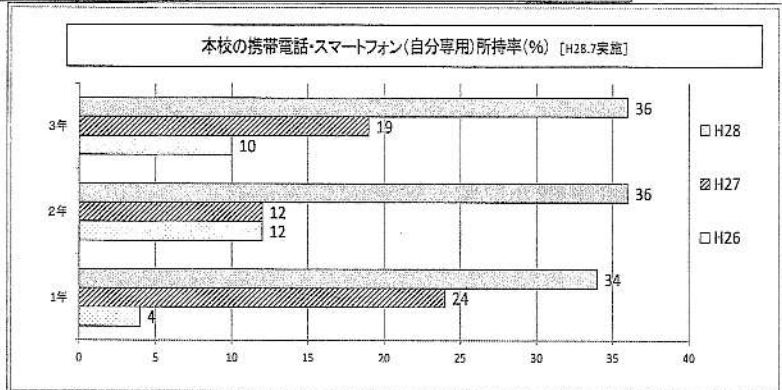
平成28年11月30日 与論町立与論中学校

特集

携帯・スマホ等のトラブルから子どもを守るために

昨今、携帯電話やスマホ、インターネットをめぐって、子どもたちの間に様々な問題が起こっています。LINEやツイッターなどを使ったいじめやトラブル、不適切なサイトへのアクセスなど数多くの事例を目にします。また、インターネットを通して犯罪に巻き込まれたケースもあります。

本校では、上記のような大きなトラブルは起きていませんが、携帯、スマホ等の所持率が増加するにしたがい、トラブルに巻き込まれるなどリスクは高くなります。以下にインターネットトラブルの例を紹介するので、ご家庭で話題にいただけるとありがたいです。

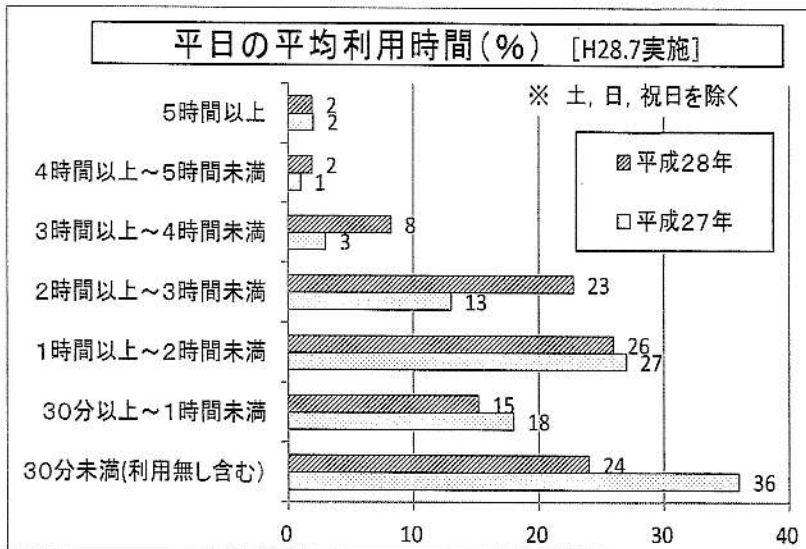


所持率が一昨年比べて4倍増加しています。トラブルを起こしたり、トラブルに巻き込まれたりしないか危機感を持っています。

【ネット依存傾向】

無料通話アプリやSNS、ゲーム、動画など、楽しく魅力的なことがいろいろできるスマホですが、使いすぎには要注意です。自分をコントロールできずスマホ等を長時間使うようになれば、当然、勉強に充てる時間や睡眠時間が減ります。

本校でも、昨年度に比べて、2時間以上使用する生徒の割合が高くなってきています。また、スマホやインターネット等を使用することで、「インターネット等を長時間利用していると感じている。(37%)」、「サイト利用やメッセージのやりとりで



睡眠不足になったりしたことがある。(13%)」、「サイトの利用やメッセージのやりとりで勉強に集中できないことがある。(15%)」、「寝るために布団に入っても、携帯電話やインターネット機器が手放せない。(5%)」等ネット依存傾向を選択した生徒もいます。適切な使い方ができるよう、利用のルールを決め、保護者が利用状況を把握することが大切だと思われます。

【ネットいじめ・中傷】

ツイッターやフェイスブックなどは自分の名前を明らかにしますが、LINEはグループ内だけでやりとりするため、外部に漏れません。(絶対とは言えませんが) そのため、悪口やいじめが行われやすくなります。気軽に書き込めるので内容が過激になりやすいという特徴もあります。

携帯やスマホを使用しなければ起こらないことですが、使用する場合は「人の悪口や陰口はネットで絶対に書かない」という約束を決めることが大切です。(このことは、ネット上だけではありません)



